年間授業計画 新様式

八王子北 高等学校 令和8年度（３学年用）教科 芸術 科目 総合音楽

教 科： 芸術 科 目： 総合音楽 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 組～ 組

教科担当者：（ Ｃ組、Ｄ組、Ｅ組 ）

使用教科書：（ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 ピアノ演奏、リトミックなどの基礎を学び、高校卒業後の進路先で必要な演奏技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽を構成する要素を理解し、体得したことを演奏に応用し表現を工夫する。

【学びに向かう力、人間性等】 仲間同士で互いの演奏を聴き合い、相互に意見交換や助言を行う力を身に付ける。

科目 総合音楽 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人の実力に応じたピアノ実技を伸ばす。 ソルフェージュや楽典など音楽の基礎知識を学ぶ。	音楽を構成する要素を理解し、体得したことを演奏に応用し表現を工夫する。	仲間同士で互いの演奏を聴き合い、相互に意見交換や助言を行う力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	ピアノの基礎基本 【知識及び技能】ピアノの奏法や音階について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】奏法や音色などを工夫して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に演奏に取り組む。	・ピアノの基礎と特徴 ・鍵盤と音程、音階の理解 ・運指について		○			【知識・技能】楽器の音色や奏法との関わり、様々な音楽表現の特徴について理解している。奏法を習得している。 【思考・判断・表現】音色やリズム、旋律、テクスチュアを知覚し、どのように演奏するか意図を明確に持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】奏法を高度に習得すること、音楽表現を創意工夫することに	○	○	○	10
	音楽の歴史を学ぼう① 【知識及び技能】各時代の音楽の特徴、その文化的歴史的背景を知る。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の特徴を知覚し、音楽の良さや美しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に鑑賞の授業に取り組む。	・時代ごとの音楽の特徴 ・時代ごとの楽器について ・時代ごとの作曲家・演奏方法について				○	【知識・技能】各時代の音楽における特徴と文化的歴史的背景との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲の良さや美しさを味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】西洋音楽の歴史を文化的歴史的背景の学習でたどることに関心を持ち、主体的協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
2学期	ピアノ演奏の基礎・基本 【知識及び技能】ピアノの奏法や音階についてさらに理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴を知覚し、どの様に表現に結びつけるかより深く考えて演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】音楽表現の創意工夫をする。	・ピアノの基礎と特徴 ・鍵盤と音程、音階の理解 ・運指について		○	○	○	【知識・技能】楽器の音色や奏法との関わり、様々な音楽表現の特徴についてより深く理解している。奏法をより高度に習得している。 【思考・判断・表現】音色やリズム、旋律、テクスチュアを知覚し、より深い表現意図を持って演奏できている。 【主体的に学習に取り組む態度】音楽表現をより高度に習得し、創意工夫することに関心を持って一層主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	楽典・音の長さについて 【知識及び技能】リズムの読み方を知覚し、他者の音を聞きながらハンドクラップで正しく演奏する。 【思考力、判断力、表現力等】表現の工夫をする。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に活動に取り組む。	・音の長さと音符の種類 ・リズムの読み方、取り方 ・ハンドクラップ			○		【知識・技能】音素材や音の重なりによる響きの特徴、リズムについて理解し、正確に演奏している。 【思考・判断・表現】リズム、速度、強弱テクスチュアを知覚し、それらを表現にどの様に生かすか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】音色を工夫したりしながらイメージをもって主体的・協働的に演奏に取り組んでいる。	○	○	○	2
3学期	ピアノ演奏の基礎・基本 【知識及び技能】ピアノの奏法や音階についてさらに理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴を知覚し、どの様に表現に結びつけるかより深く考えて演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】音楽表現の創意工夫をする。	・演奏発表 ・ピアノの歴史と協奏曲について		○		○	【知識・技能】楽器の音色や奏法との関わり、様々な音楽表現の特徴についてより深く理解している。奏法をより高度に習得している。 【思考・判断・表現】音色やリズム、旋律、テクスチュアを知覚し、より深い表現意図を持って演奏できている。 【主体的に学習に取り組む態度】音楽表現をより高度に習得し、創意工夫することに関心を持って一層主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	協奏曲の魅力を探ろう 【知識及び技能】曲想の表現上の効果と音楽の特徴と文化的・歴史的背景の関わりについて理解を深める。。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の特徴を知覚し、楽曲に対する評価とその根拠について自ら味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】作曲者の生涯に興味を持ち主体的・協働的に鑑賞の授	・ショパンのピアノ協奏曲第1番 ・ベートーベンピアノ協奏曲第5番「皇帝」 ・ラフマニノフピアノ協奏曲第2番 ・作曲家年表 ・音楽史と史実			○		【知識・技能】音楽の文化的・歴史的背景を踏まえた上で、曲想や表現上の効果と構造との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら曲を味わい、根拠をもって楽曲の評価する（感想を著す）ことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】オーケストラ	○	○	○	2 合計 32